

令和元年10月

第693号



水土里ネット長崎だより

長崎県土地改良事業団体連合会



長崎の農業・農村写真コンテスト入選作品
「壮快 掛け干し」長崎市

～目次～

「土地改良・農山漁村は日本の命綱」	2
「『土地改良は未来への礎』を活動の基本理念として」	3
「農業農村整備の集い」開催	4
農林水産省、国会議員へ政策提案・要請活動	4
九州農政局、農林水産省、財務省へ政策提案・要請活動	5
長崎県知事、県議会議員、自民党県連へ政策提案	6
令和2年度 農業農村整備事業関係予算概算要求 決定	7
国の農業農村整備予算の推移	7
土地改良施設の資産評価データ整備について	7
令和元年度 九州協議会・九州農業農村整備事業推進協議会合同会議	8
令和元年度 九州協議会農業農村整備研修会	8
令和元年度 九州協議会専務・常務理事会議	8
令和元年度 第1回監事会	9
長崎県管理運営体制強化委員会	9
長崎県受益農地管理強化委員会	9
令和元年度 長崎県農地盤整備地区連絡協議会総会および研修会	10
長崎県水土里情報連絡協議会幹事会	10
土地改良法改正に伴う定款等改訂説明会	10
令和元年度 水土里情報システムVer. 3 操作研修会	11
令和元年度 複式簿記導入促進特別研修会	11
会計指導員育成研修受講及び認定試験合格	11
ご就任おめでとうございます	12
会議と行事	12
本会会員新規加入について	12
会員土地改良区の皆様にお願ひ	12



「土地改良・農山漁村は 日本の命綱」



参議院議員 かね ひ こ
進藤 金日子

第25回参議院通常選挙において、「土地改良・農山漁村は未来への礎」を掲げて積極的に政治活動を行ってきた宮崎雅夫さんが、多くの皆様の支援を受けて見事に当選を果たしました。国政における土地改良の代表としては、平成19年に1議席を失って以来、12年振りに2議席を託して頂くことができました。皆様のご期待に添えるように、私も宮崎議員と手を携えて、緊張感を持って農林水産業の発展と農山漁村の振興に向けて着実に歩みを進めて参る所存です。

さて、令和元年度の土地改良関係予算については、平成30年度補正予算と本年度当初予算を合わせて6,451億円確保できました。そのうち当初予算が約2/3の4,418億円であり、残り1/3は補正予算と国土強靱化等の緊急対策です。

令和2年度予算の概算要求額は、5,388億円(対前年度比122%)です。今後、厳しい予算折衝となりますが、まずは当初予算を可能な限り上積みしていくことを第一の目標とし、補正予算や国土強靱化等の対応も含めて現場に必要な予算をしっかりと確保できるように関係者が一丸となって頑張っていく必要があります。

全国を廻って現場の課題をお聞きしていますが、土地改良区が抱えている課題は地域の置かれている状況や営農条件或いは土地改良区の規模によって様々です。こうした中で、最近一番多く聞かれるのが、土地改良法改正により土地改良区が行う事務が増大しており、特に小規模な土地改良区では負担感が大きく先が見えないといった悲痛な声を聞きます。こうした声をしっかりと受け止めて、国に伝えていく、そして対応策と一緒に考えて、お示しすることが大切です。10年後に「あの時は苦しかったけれども、やっておいて良かった」と皆んなで笑顔で振り返ることができるように、緊張感を持って対応して参る覚悟ですので、引き続き現場の声をお聞かせ下さい。

結びに、安倍内閣改造に伴い、9月13日に総務大臣政務官兼内閣府大臣政務官に任命されました。安倍総理から辞令を交付され、身の引き締まる思いでした。我が国の農林水産業と農山漁村を総務省の視点から見つめ直し、私の政治理念である「土地改良・農山漁村は日本の命綱」を旗印に、これまでの政治活動に厚みを増すべく、粉骨砕身努力して参る所存ですので、皆様の変わらぬご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げます。



「土地改良は未来への礎」を 活動の基本理念として



参議院議員
宮崎 雅夫

実りの秋を迎え、長崎県土地改良事業団体連合会会員ならびに関係機関の皆様には、ますますご清祥のことと存じ上げます。

皆様には、日頃から土地改良の推進、農業農村の振興にご尽力頂いておりますことに心より敬意を表します。

また、このたびの令和最初の参議院議員選挙におきましては、お陰様をもちまして当選の栄に浴することができ、皆様のご期待に応えられるよう先輩の進藤金日子議員と力を合わせて頑張っております。

私は、土地改良とは、先人が創り上げた農地やかんがい排水施設を時代の要請に応じて整備し、農業農村の発展を図りながら次の世代に引き継いでいく仕組みだと考えています。

そこには、国民に食料を安定供給するとともに、かけがえのない美しい日本のふるさとを守り、後世にしっかりと引き継いでいくという国民的課題に応えていくことが求められています。こうしたことを一言で表したのが私のモットーとするところの「土地改良は未来への礎」です。

私は、これまで約1年半にわたり、すべてとはいえないまでも全国を隈無く回らせていただき、それぞれの地域の皆さんが農地と水をしっかりと守っていただいている様子を強く感じました。このことは、平場や棚田など、それぞれの地域に即した多様な農業が継続できるよう、予算的・制度的に充実させていくことが重要だということに他ならないと考えています。

さらに、近年多発している甚大な自然災害への防災・減災の取り組み、担い手後継者の確保・育成のための取り組みも併せて着実に進めていく必要があります。

私は、これからも「土地改良は未来への礎」を政治活動の基本理念とし、各地域の現状を自分の目で拝見し、ご意見を自分の耳で拝聴させていただきながら、地域と国政のパイプ役となって地域の要請を国政に反映できるよう汗を流し続けていく所存です。

今後とも皆様のご理解とご支援、そしてご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、長崎県土地改良事業団体連合会会員の皆様お一人おひとりのご健勝とご多幸、ならびに地域の発展をお祈り申し上げます。

令和元年 10 月吉日

『農業農村整備の集い』開催 ～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～

令和元年6月5日（水）、シェーンバッハ・サポー（東京都千代田区）において、全国水土里ネットと都道府県水土里ネット共催による「農業農村整備の集い」が開催されました。

この「集い」は、全国から農業農村整備関係者が一堂に会し、それぞれの現場で直面している喫緊の課題を再確認し、これらの諸課題に緊急に対応すべく、農業農村整備事業の一層の充実と推進を期することを目的として開催されました。

集いには、吉川貴盛農林水産大臣をはじめ100名を超える衆参両院の国会議員や農林水産省の幹部らを来賓に迎え、全国の土地改良区並びに市町村、都道府県水土里ネットなど約1200名が集い、長崎県からは15名が参加しました。

集いでは、二階俊博全国水土里ネット会長の挨拶の後、吉川貴盛農林水産大臣は「農業を若者が夢や希望を託すことができる魅力ある産業としていくため、農業の生産基盤を更に強化する農業農村整備を推進していく必要がある。農業農村整備をより一層推進していくためにも、当初予算の必要額確保が重要であり、全力で取り組む」と述べられました。また、森山裕国会対策委員長、塩谷立自民党農林・食料戦略調査会長、井上義久公明党副代表、西川公也内閣官房参与、進藤金日子参議院議員が祝辞を述べられました。その後、宮崎雅夫都道府県水土里ネット会長会議顧問から農業農村整備事業の情勢報告が行われました。

おわりに「事業の計画的・安定的な推進のため、令和2年度当初予算の増額」や「改正土地改良法の適切な運用のため、その普及活動や運営基盤の強化に対する支援の推進」などの要請書が提案され、満場一致で採択されました。最後にガンバロウ三唱を参加者全員で声高らかに唱和して、集いを閉会しました。



二階俊博：全国水土里ネット会長の挨拶



吉川貴盛：農林水産大臣の祝辞

農林水産省、国会議員へ政策提案・要請活動

長崎県農林部、長崎県土地改良事業団体連合会及び関係土地改良区は、令和元年6月5日（水）に農林水産省、県選出国会議員に対し要請活動を行いました。

松尾一郎：水土里ネット長崎副会長より、本県の農業農村整備事業予算の状況を説明し、令和2年度農業農村整備事業当初予算の増額等を要望しました。



加藤寛治：衆議院議員へ要請



進藤金日子：参議院議員への要請

九州農政局、農林水産省、財務省へ政策提案・要請活動

九州農業農村整備事業推進協議会（宮路高光会長：日置市長）及び土地改良事業団体連合会九州協議会（永吉弘行会長：水土里ネット鹿児島会長）は、農業農村整備事業予算確保等を求めるため合同政策提案・要請活動を国に対して行いました。

7月24日（水）、両協議会より45名が参加し、九州農政局に対し合同の政策提案・要請活動を実施しました。佐竹健次：九州農政局次長をはじめ幹部の方々12名に出席を頂き、九州地域における農業農村整備事業の強力な推進と予算の確保を要望し、意見交換会を行いました。

7月31日（水）、同協議会より36名が参加し、農林水産省および財務省に対して、農業農村整備事業の当初予算の確保を要請しました。小里泰弘：農林水産副大臣と上野賢一郎：財務副大臣との面談では、九州・沖縄の現状と課題並びに九州の農業農村整備事業の効果について説明し、予算確保などの要望内容について十分理解を示していただきました。

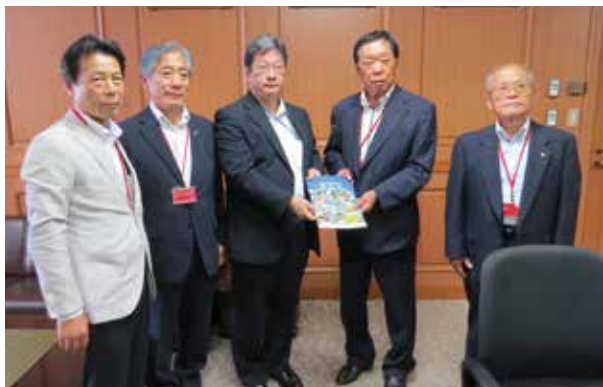
また、8月1日（木）には、二階俊博：自民党幹事長に対して政策提案・要請活動を行い、同様に本県選出国會議員に対しても要請活動を行いました。



二階俊博：自民党幹事長へ要請



上野賢一郎：財務副大臣へ要請



佐竹健次：九州農政局次長へ要請



太田充：財務省主計局長へ要請



加藤寛治：衆議院議員へ要請



金子原二郎：参議院予算委員長へ要請

令和元年度農業農村整備事業に対する要請活動 長崎県知事、県議会議員、自民党県連へ政策提案

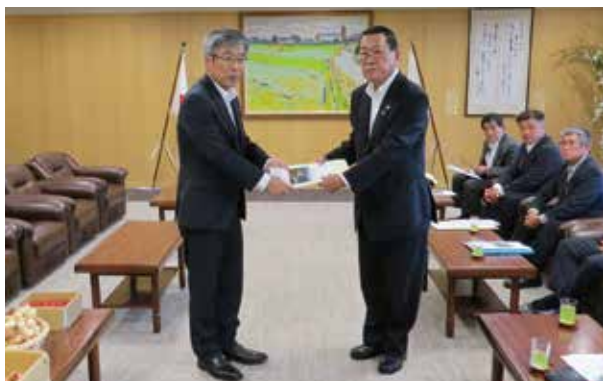
長崎県農業農村整備事業推進協議会(会長：宮本明雄諫早市長)及び長崎県土地改良事業団体連合会(会長：古川隆三郎島原市長)並びに地域農業農村整備事業推進協議会は、総勢36名で、9月2日(月)に知事へ政策提案・要請を行いました。

上田副知事は、「農業農村整備事業の重要性というのは十分認識しており、引き続き皆様方とともに前向きに、積極的に取り組んでいきたい。当初予算の満額確保については、当初予算で確保する事が計画的な推進につながっていくので、県としても国の方へ働きかけていきたい。また、複式簿記の導入については、県においても市町、土改連と一緒に乗り越えていきたいと考えている。近年、大雨などによる災害が起きているので、ため池などの水利施設等を計画的に整備・補修していきたい」と力強い回答を頂きました。

また、長崎県議会議員、自民党長崎県連へも政策提案・要請を行いました。要請内容の説明後、事業実施中の改良区からは、計画的な事業実施のためには、当初予算での確保が必要であることが訴えられ、国の令和2年度農業農村整備事業当初予算の増額確保や土地改良法改正に伴う土地改良区の複式簿記会計移行等に関する支援等について要望を行いました。

【 要 請 内 容 】

- 一、農業生産基盤の計画的な整備を行うために
国の令和2年度農業農村整備事業当初予算の増額確保
- 一、県の令和2年度農業農村整備事業当初予算の必要額確保
- 一、県における農業農村基盤整備事業新規地区の強力な推進
- 一、土地改良法改正に伴う土地改良区の複式簿記会計移行等に関する支援



上田裕司：長崎県副知事へ要請
(宮本明雄会長より)



要請活動の様子



瀬川光之：長崎県議会議員へ要請



外間雅広：自民党県連幹事長へ要請

令和2年度 農業農村整備事業関係予算概算要求 決定

農林水産省は、8月31日、令和2年度農林水産関係予算の概算要求をまとめ、財務省に提出しました。

その中で、農業農村整備関係事業については、令和元年度当初予算4,418億円の122%、5,388億円を要求し、農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化を図ることとなっています。

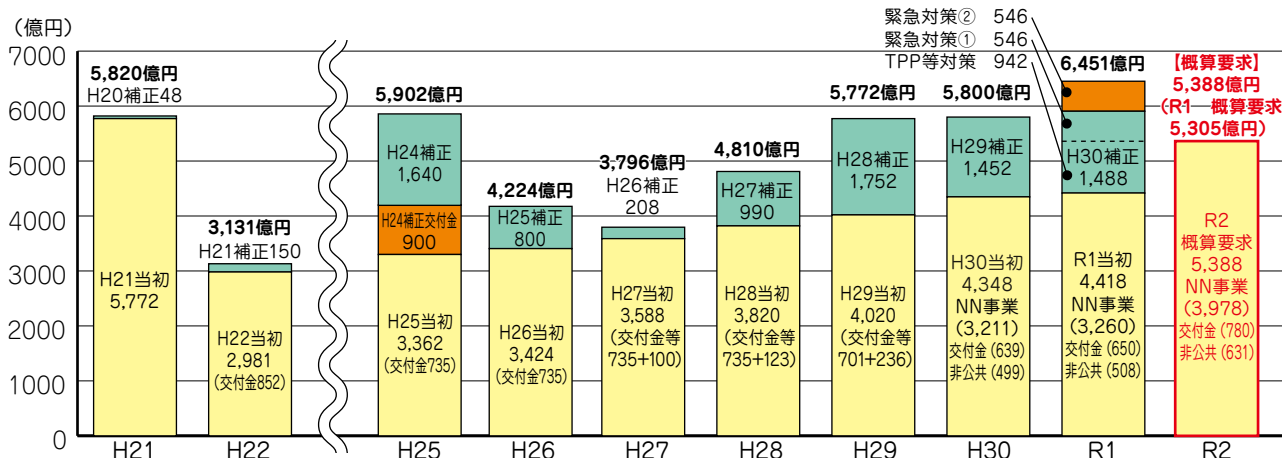
具体的には、担い手への農地集積や農業の高付加価値化を図るため、農地の大区画化や汎用化・畑地化、畑地かんがい施設の整備等、また、老朽化した水路・ため池等の農業水利施設の長寿命化・耐震化対策等を推進することとしています。

事項	令和元年度 当初予算額	令和2年度 概算要求額	対前年度比
農業農村整備事業関係予算	4,418	5,388	122.0%
・農業農村整備事業（公共）	3,260	3,978	122.0%
・農業農村整備関連事業（非公共） 〔農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業〕	508	631	124.3%
・農山漁村地域整備交付金（公共） （農業農村整備分）	650	780	120.0%

※1 令和元年度当初予算額は「臨時・特別の措置」を除いた金額

※2 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

国の農業農村整備予算の推移

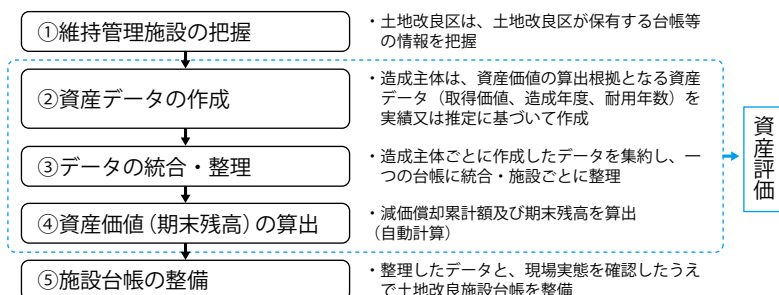


土地改良施設の資産評価データ整備について

改正土地改良法施行に伴い、貸借対照表の作成・公表を行うこととされました。

貸借対照表を作成することにより、土地改良区が管理する施設に係る情報を整理し、価値を決めることを「資産評価」といい、将来の施設更新に要する費用が見える化されます。

土地改良施設台帳の作成及び資産評価の流れ（概略）



令和元年度 九州協議会・九州農業農村整備事業推進協議会合同会議

5月23日（木）、鹿児島サンロイヤルホテル（鹿児島市）において、九州各県より協議会役員、県職員、連合会役職員44名出席のもと、令和元年度の合同会議が開催されました。

会議では、九州農業農村整備事業推進協議会：宮路高光会長（鹿児島県農業農村整備事業推進協議会長・日置市長）の挨拶の後、議事に入り、各項目とも原案どおり可決承認されました。議事内容は以下のとおりです。



宮路会長（九州農業農村整備事業推進協議会）

議 事

- 1) 平成30年度推進協議会事業報告について
- 2) 令和元年度政策提案・要望活動（案）について

令和元年度 九州協議会農業農村整備研修会

5月23日（木）、鹿児島サンロイヤルホテル（鹿児島市）において、令和元年度九州協議会農業農村整備研修会が開催されました。

土地改良事業団体連合会九州協議会：永吉弘行会長（水土里ネット鹿児島会長）の挨拶の後、情勢報告として、鈴木浩之：九州農政局農村振興部長より、令和元年度農業農村整備事業予算などについて情勢報告が行われました。

続いて、平成30年度農業農村整備優良地区コンクールの農業振興部門で農林水産大臣賞を受賞した丸田地区（西海市）と中山間地域等振興部門で農林水産大臣賞を受賞した八斗木地区（雲仙市）が事例を紹介し、研修会は盛会の内に終了しました。



事例発表
（富田和利会長：丸田地区基盤整備事業推進委員会）

令和元年度 九州協議会専務・常務理事会議

9月17～18日、土地改良会館において、令和元年度九州協議会専務・常務理事会議が開催されました。

土地改良事業団体連合会九州協議会会長県の堀洋一郎専務理事（水土里ネット鹿児島）の挨拶の後、各県水土里ネットを取り巻く現状や方向、土地改良区の複式簿記導入に係る各県の取組状況、防災重点ため池に関する県・市町村との連携などについて意見交換が行われました。



令和元年度 第1回監事会

7月17日(水)、土地改良会館において、平山学代表監事(諫早干拓土地改良区理事長)、大久保純三監事(竜尾川土地改良区理事長)、川口規一監事(牟田土地改良区理事長)出席のもと本年度の第1回監事会が開催されました。

監査立会人のもと審議を行い、各議案は原案どおり可決承認されました。また、監査については、厳正な監査の結果、適正に処理されていることが報告されました。



議 事

- 第1号議案 令和元年度監査の実施計画に関する件について
- 第2号議案 平成30年度監査結果に対する措置に関する件について
- 第3号議案 平成30年度決算監査に関する件について

長崎県管理運営体制強化委員会

7月8日(月)、土地改良会館において、長崎県管理運営体制強化委員会が強化委員10名の出席により開催されました。議事内容については審議の結果、全て承認されました。



議 題

- 第1号議案 長崎県管理運営体制強化委員会設置内規の改正(案)について
- 第2号議案 平成30年度事業実績報告並びに収入支出決算額について
- 第3号議案 令和元年度事業実施計画並びに収入支出予算について
- 第4号議案 令和2年度施設・財務管理強化対策について

強化委員

- 中村博文(九州農政局土地改良管理課長)
- 久米重治(雲仙市農漁村整備課長)
- 森高一久(長崎県農村整備課参事)
- 松原勝俊(西海町土地改良区参事)
- 田中和弘(長崎県農村整備課課長補佐)
- 宇都宮大輔(日本政策金融公庫融資第1課長)
- 山滝健二(長崎県農業経営課課長補佐)
- 松尾一郎(水土里ネット長崎専務理事) ※委員長
- 小川信人(諫早市農地保全課長)
- 野田和幸(水土里ネット長崎総務部長)

長崎県受益農地管理強化委員会

7月8日(月)、土地改良会館において、長崎県受益農地管理強化委員会が強化委員8名の出席により開催されました。議事内容については審議の結果、全て承認されました。



議 題

- 第1号議案 平成30年度事業実績報告並びに収入支出決算額について
- 第2号議案 令和元年度事業実施計画並びに収入支出予算について
- 第3号議案 その他

強化委員

- 中村博文(九州農政局土地改良管理課長)
- 松尾十七治(愛津原土地改良区事務局長)
- 新竹和則(長崎地方法務局統括登記官)
- 松尾一郎(水土里ネット長崎専務理事) ※委員長
- 田中和弘(長崎県農村整備課課長補佐)
- 館雄二(水土里ネット長崎技術部長)
- 小川信人(諫早市農地保全課長)
- 川原賢一(水土里ネット長崎換地課係長)

令和元年度 長崎県農地基盤整備地区連絡協議会総会および研修会

8月8日(木)、たびら活性化施設(平戸市)において、来賓及び県内の土地改良区、関係機関、本会など計63名出席のもと、令和元年度長崎県農地基盤整備地区連絡協議会(山田牧久会長:馬込土地改良区理事長)の総会および研修会(事業視察含む)が2日間に渡って開催されました。

総会では、各議案について審議が行われ、全議案とも可決承認されました。

研修会では、県農村整備課の田中係長より「土地改良施設の維持管理について」、本会松尾副会長より「土地改良事業の動向」と題した講話がなされました。

また、9日(金)には、平戸市内の基盤整備や農道状況の現地視察が行われました。



黒田成彦：平戸市長の祝辞

長崎県水土里情報連絡協議会 幹事会

8月28日(水)、土地改良会館において、県、市町、土地改良区、農業関係団体が会員となる長崎県水土里情報連絡協議会の令和元年度第1回幹事会が開催されました。

議事に入り、各項目とも原案どおり可決承認されました。議事内容は以下のとおりです。

なお、総会については、書面にて議決をいただくこととなりました。



議 事

- 1) 令和元年度総会提出議案について
 - 第1号議案 平成30年度事業報告の承認を求める件
 - 第2号議案 令和元年度事業計画の承認を求める件
- 2) その他
- 3) 総会の開催・書面議決について

土地改良法改正に伴う定款等改訂説明会

土地改良会館において、土地改良法改正に伴う定款等改訂説明会を9月19日(木)、20日(金)に開催し、2日間で延べ93名が参加しました。

説明会では、土地改良法の一部を改正する法律が、平成31年4月1日から施行されたことに伴い、土地改良区において必要となる事項が説明されました。

具体的には、土地改良区の定款、規約、役員選挙(選任)規程の変更、総代選挙規程および水利調整規程の策定が必要となります。これらは、今年度の土地改良区の総会(総代会)において承認を受けなければなりません。また、定款及び定款附属書である役員選挙(選任)規程及び総代選挙規程は、県の認可が必要となることなどが説明されました。



令和元年度 水土里情報システムVer.3 操作研修会

土地改良会館において「水土里情報システムVer.3 操作研修会」を下記日程で開催しました。

本システムは、デジタルオルソ（航空写真データ）、地形図、農地筆図、耕区図等の地図情報と、地番、地目、所有者、耕作者、作付情報等の属性情報および農業用施設の情報を一元管理できるクラウド方式の地理情報システム（GIS）です。システムの利用にあたっては、利用者毎にID・パスワードを配布し、閲覧範囲の制限を行っています。クラウド上の専用サーバー（データセンター）は、内閣サイバーセキュリティセンターに準じたセキュリティ対策を実施しています。

なお、本研修会は毎年度開催していますので、積極的に参加していただき、システムを有効活用することで、業務の効率化に繋がることを期待します。



研修会の様子

- 第1回 令和元年 6月 18日(火)・・・基本編
6月 19日(水)・・・応用編
第2回 令和元年 6月 25日(火)・・・基本編
6月 26日(水)・・・応用編

令和元年度 複式簿記導入促進特別研修会

9月4(水)～5日(木)、土地改良会館において、「令和元年度 複式簿記導入促進特別研修会」が全国水土里ネットの主催により開催されました。

土地改良区は、土地改良法の改正に伴い、貸借対照表の作成が義務づけられ、令和4年度から複式簿記へ移行しなければなりません。

本研修会は、複式簿記への円滑な移行を図るため、複式簿記の導入に関する実務的知識を習得することを目的としています。

研修会には、県内土地改良区職員や県、市町の担当者ら約70名が参加されました。

講師の九州農政局土地改良管理課の石村係長からは、新たな土地改良区会計基準や資産評価マニュアルなどについて、また、全国水土里ネット経理部の金内主任からは、複式簿記の基礎知識や勘定科目、開始貸借対照表の作成方法などについての説明を受けました。

本研修は、来年度も公募団体主催により開催予定となっていますので、参加をお願いします。



【研修会次第】

- ①土地改良区複式簿記の基礎知識
- ②土地改良区における基本的な勘定科目と仕訳について
- ③新たな土地改良区会計基準について
- ④土地改良施設の資産評価マニュアルの紹介と減価償却の実務
- ⑤土地改良区会計基準に基づく会計記帳実務
- ⑥土地改良区特有の勘定科目及び仕訳について
- ⑦開始貸借対照表の作成方法について

会計指導員育成研修受講及び認定試験合格

8月5～7日、砂防会館（東京都）において、会計指導員育成研修が開催され、8日には認定試験が行われました。本会からは2名が受講・受験しました。

認定試験の結果、両名とも見事合格し、本会に在籍する会計指導員は6名となりました。

ご就任おめでとうございます

令和元年9月の第4次安倍第2次改造内閣において、北村誠吾衆議院議員(長崎県第4区選出)が、内閣府特命担当大臣(地方創生、規制改革)に、加藤寛治衆議院議員(長崎県第2区選出)が、農林水産副大臣に就任されました。

今後益々のご活躍を祈念申し上げます。



北村誠吾：衆議院議員
(内閣府特命担当大臣)



加藤寛治：衆議院議員
(農林水産副大臣)

会議と行事

- 10月**
- 1日 第212回理事会(長崎市：土地改良会館)
 - 9日 九州協議会事務責任者会議(熊本市)
 - 16日 第42回全国土地改良大会岐阜大会(岐阜県)
 - 23日 長崎県多面的機能支払活動組織の集い(諫早市：諫早文化会館)

- 11月**
- 7日 九州「農地・水・環境保全」フォーラムin鹿児島(鹿児島市)
 - 7日 2019ため池フォーラムinみえ(三重県)
 - 11日 農業農村整備の集い(東京都)
 - 18日 農業農村整備に関する意見交換会(長崎市：農協会館)
 - 20~21日 換地関係異議紛争処理実務研修会(佐賀市)

本会会員新規加入について

土地改良区名	所在地	理事長	加入年月日
馬場土地改良区	南島原市深江町丙419番地7	薄田 俊介	令和元年7月12日

会員土地改良区の皆様へお願い

本会会員加入時に加入届出書を提出して頂いておりますが、住所並びに役職等の変更等があった場合は、変更届けを提出して下さいますようお願い致します。

また、改良区主催でイベントなどを実施される場合は、本誌(水土里ネット長崎だより)に掲載したいと思っておりますので、本会までお気軽にお知らせ願います。



土地改良会館 〒850-0057 長崎市大黒町9番17号 TEL(095)823-3101・FAX(095)823-3102
 総務部：総務課・会員支援課・事業推進室 (E-mail: n.soumu.3101@ntr.or.jp)
 技術部：技術課・換地課 (E-mail: nagasaki.setukei@ntr.or.jp)

県央支所：〒854-0071 諫早市永昌東町25-37 TEL(0957)23-7645・FAX(0957)27-0025・✉ sisho02@ntr.or.jp
 島原支所：〒855-0036 島原市城内1丁目1185-1 TEL(0957)62-6424・FAX(0957)65-0618・✉ sisho03@ntr.or.jp
 五島支所：〒853-0032 五島市大荒町441-1 TEL(0959)72-5007・FAX(0959)72-5007・✉ sisho05@ntr.or.jp
 杵岐支所：〒811-5133 杵岐市郷ノ浦町本村触509-3 TEL(0920)47-0408・FAX(0920)48-1011・✉ sisho06@ntr.or.jp

ホームページ <http://ntr.or.jp>

水土里ネット長崎

検索

長崎県農地保全推進協議会 TEL(095)816-3636 ✉ nagasaki.nkyougikai@ntr.or.jp

【本誌に関するお問合せやご質問などは、水土里ネット長崎総務課までお願い致します】